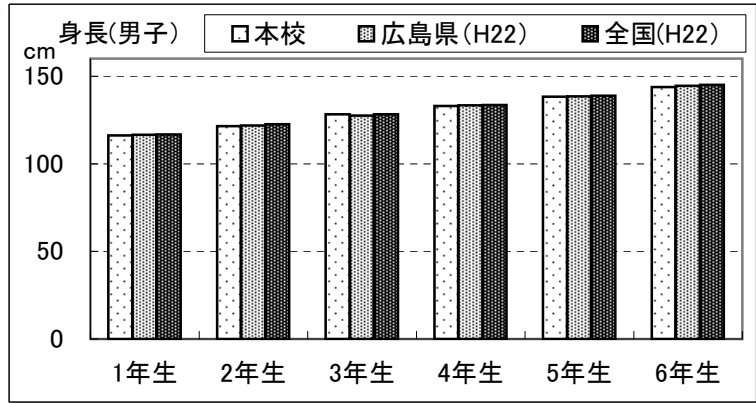


1. 定期健康診断結果について

(1) 計測検査結果

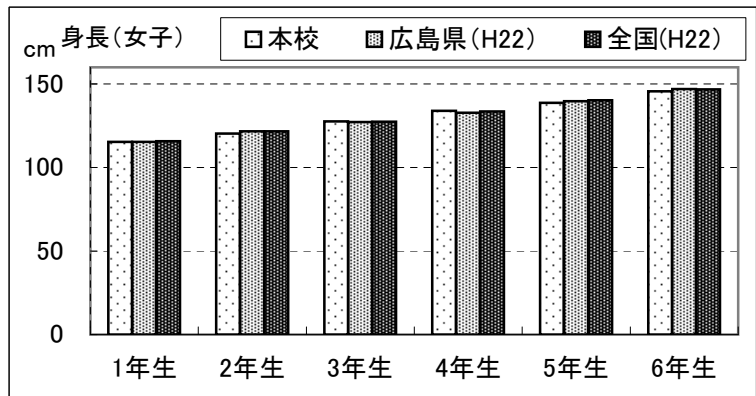
身長(男子) ↑ ↓は広島県との比較 (単位:cm)

	本校	広島県(H22)	全国(H22)
1年生	↓ 116.2	116.5	116.7
2年生	↓ 121.5	121.9	122.5
3年生	↑ 128.3	127.5	128.2
4年生	↓ 132.9	133.4	133.5
5年生	↓ 138.3	138.4	138.8
6年生	↓ 143.8	144.5	145.0



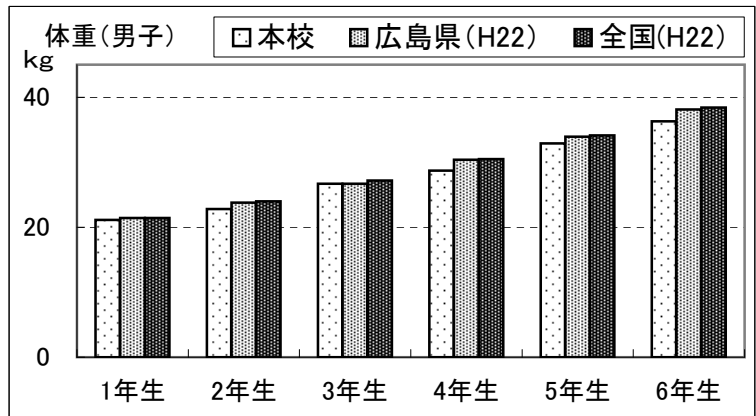
身長(女子) (単位:cm)

	本校	広島県(H22)	全国(H22)
1年生	↓ 115.3	115.4	115.8
2年生	↓ 120.4	121.7	121.7
3年生	↑ 127.6	127.2	127.4
4年生	↑ 134.0	132.7	133.5
5年生	↓ 138.7	139.7	140.2
6年生	↓ 145.7	146.9	146.8



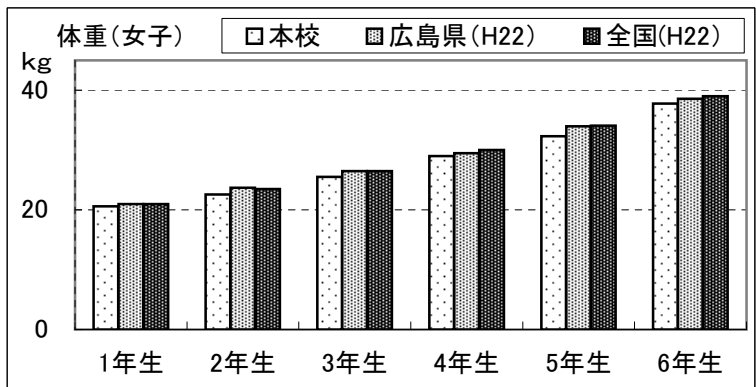
体重(男子) (単位:kg)

	本校	広島県(H22)	全国(H22)
1年生	↓ 21.1	21.4	21.4
2年生	↓ 22.8	23.8	24.0
3年生	26.7	26.7	27.2
4年生	↓ 28.7	30.4	30.5
5年生	↓ 32.9	33.9	34.1
6年生	↓ 36.3	38.1	38.4



体重(女子) (単位:kg)

	本校	広島県(H22)	全国(H22)
1年生	↓ 20.6	21.0	21.0
2年生	↓ 22.6	23.7	23.5
3年生	↓ 25.5	26.5	26.5
4年生	↓ 29.0	29.5	30.0
5年生	↓ 32.3	34.0	34.1
6年生	↓ 37.8	38.6	39.0



* 広島県平均・全国平均と比較して、3年男子の身長・体重、4年女子の身長以外は、男女とも下回っている。

* バランスよく成長するために、運動の大切さや食の大切さなど、栄養士と連携をとりながら引き続き、児童、保護者に啓発していく。

(2)内科検診・尿検査・ぎょう虫検査結果

		本校(在籍912人)		広島市
		人数	割合	H22
栄養状態	栄養不良	0	0.00%	0.06%
	肥満傾向	16	1.75%	1.82%
	脊柱側弯症の疑い	13	1.43%	0.47%
脊柱胸郭	その他の脊柱異常	0	0.00%	0.32%
	胸郭異常	0	0.00%	0.10%
皮膚疾患	伝染性皮膚疾患	2	0.22%	0.03%
	アトピー性皮膚炎	47	5.15%	11.12%
	その他の皮膚疾患	5	0.55%	0.64%
心臓疾患及び異常	学校生活管理指導表(A・B・C・D)の児童	1	0.11%	0.41%
	上記以外でを提出している児童(7/27現在)	15	1.64%	
結核		0	0.00%	0.00%
ぜん息(保健調査から)		67	7.35%	6.87%
腎臓疾患	たん白検出	7	0.77%	0.80%
	潜血検出	7	0.77%	0.86%
	糖検出	0	0.00%	0.07%
	学校生活管理指導表を提出している児童(7/27現在)	4	0.44%	
ぎょう虫卵保有者		0	0.00%	0.30%

* 内科検診で肥満傾向と言われた児童が16人いた。そのうち太りすぎ(肥満度50%以上)の児童は2人である。肥満傾向(肥満度50%以上)と言われた児童には、「成長曲線のグラフ」と「身長・体重の個人シート」を作成し、受診や健康管理について知らせている。

* 喘息については、昨年同様、4月に保護者に記入してもらった保健調査をもとに、人数を出している。保健調査に「現在の状況」の記入欄があるが未記入も多く、以前に症状が出たことがあるのか、現在も時々症状が出るのか、薬の服用をしているのか、把握が難しい。日常の健康観察や体調不良で来室したときなど気をつけてみていくようにしている。修学旅行や野外活動などの宿泊を伴う行事では、与薬依頼票を作成して健康管理をしている。

* 健康診断の項目にはないが、薬に対する副反応や、食物アレルギー、動物に対するアレルギーをもっている児童が多い。保護者に広島市学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)を提出していただき、給食、運動、校外活動や宿泊を伴う行事の時など留意し、必要に応じ保護者への確認をとりながら、学校生活を送っている。

* 心臓疾患、腎臓疾患、川崎病既往、その他の慢性疾患の児童については、「学校生活管理指導表」を主治医に記入してもらい、医師の指導区分に従って学校生活を送っている。

(3)眼科検診・視力検査結果

眼科検診結果

	本校(受診者909人)		広島市
	人数	割合	H22
伝染性眼疾患	2	0.22%	0.03%
アレルギー性結膜炎	76	8.36%	3.98%
その他の眼疾患及び異常	38	4.18%	3.04%

眼科検診受診状況

7/27現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
受診勧告者	17	9	20	5	39	16	106
受診済	12	5	8	2	15	7	49

受診率 46.2%

視力検査結果

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
受検者数	142	159	159	143	145	162	910
A 1.0以上	90	110	86	81	68	85	520
B 0.9~0.7	32	21	23	11	15	15	117
C 0.6~0.3	16	16	22	20	23	14	111
D 0.2~	2	9	13	12	9	8	53
矯正視力検査実施者	2	3	15	19	30	40	109
A 1.0以上の割合	63.4%	69.2%	54.1%	56.6%	46.9%	52.5%	57.1%

視力検査による眼科受診状況

7/27現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
B~D(B)~(D)の人数	52	48	70	57	71	67	365
受診済	31	21	31	22	33	26	164
未受診	21	27	39	35	38	41	201
受診率 %	59.6%	43.8%	44.3%	38.6%	46.5%	38.8%	44.9%

眼科検診結果内訳

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
伝染性眼疾患					2		2
アレルギー性結膜炎	11	7	12	2	31	13	76
結膜炎	2	1	2	1	0	0	6
内斜視		1					1
外斜視	4	1	2	1	5	5	18
内反症			1		1		2
眼瞼炎		1	2		2		5
その他	2		2	1			5

矯正視力検査実施者の視力検査結果

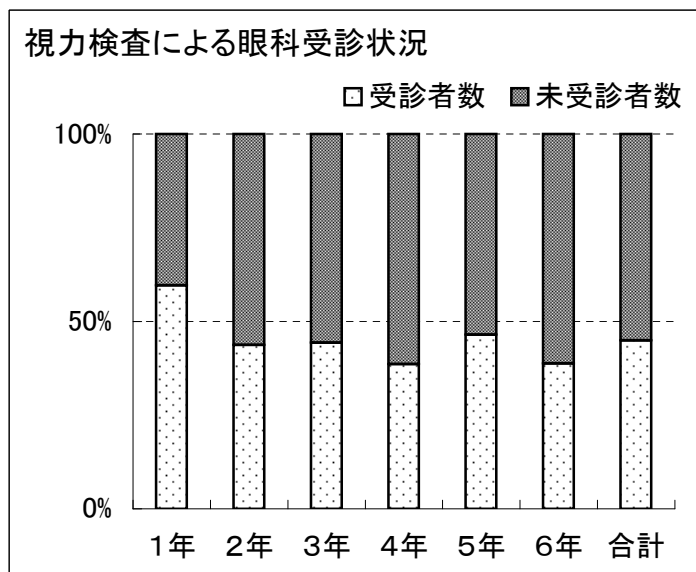
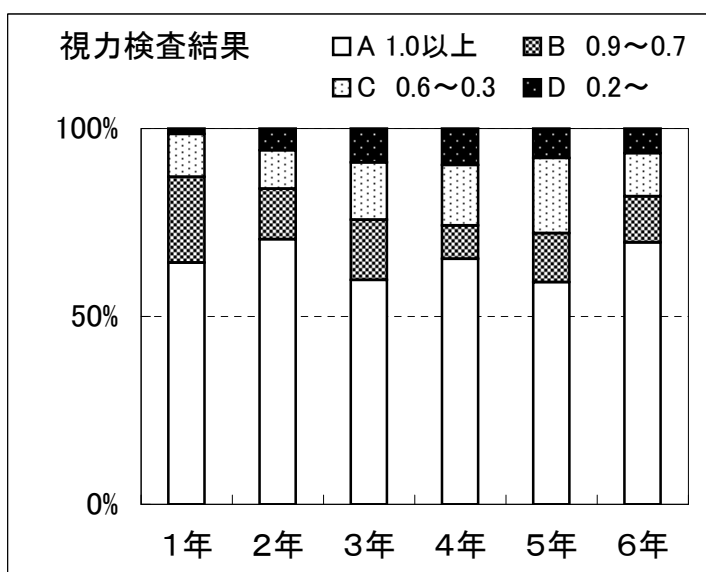
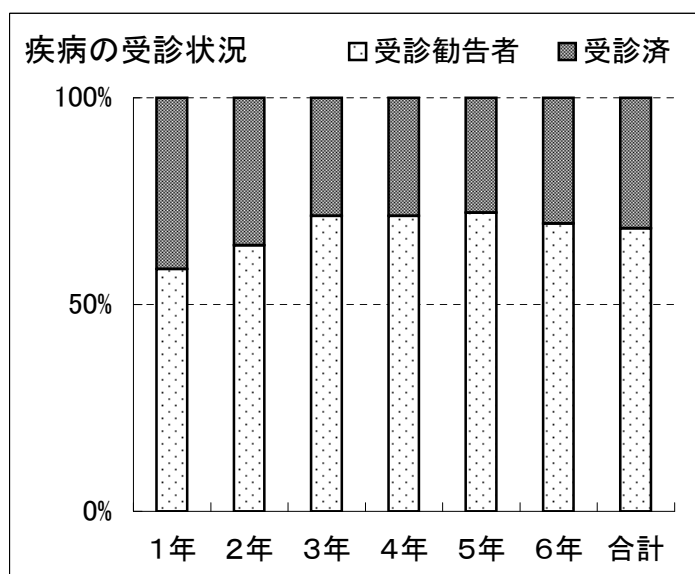
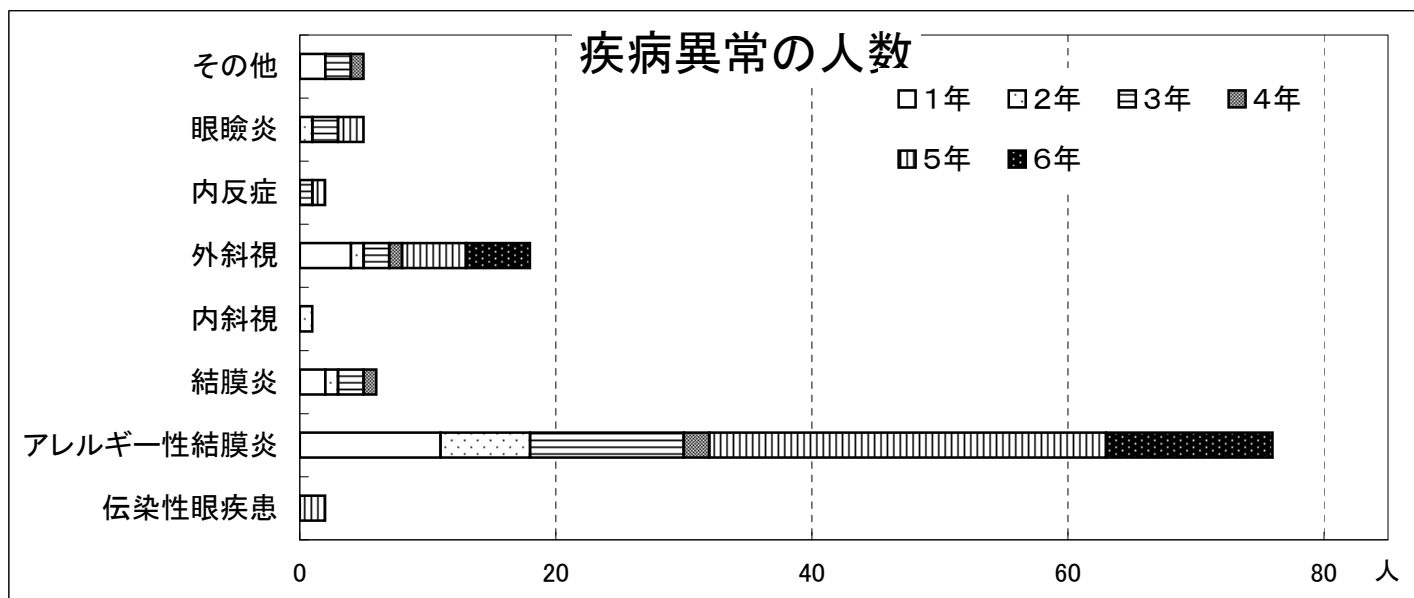
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
受検者数	2	3	15	19	30	40	109
(A)		1	3	5	6	11	26
(B)	2		6	6	11	11	36
(C)			5	5	12	17	39
(D)		2	1	3	1	1	8

* 本校では、疾病異常の内訳を見ると、アレルギー性結膜炎と外斜視が多い。

* 疾病異常や視力検査後、お知らせを出しているが受診の状況が半数に満たない。夏休み前に再度受診を勧めた。

疾病による受診状況は昨年(45.3%)と比較すると受診率(46.2%)が高くなっている。視力検査による眼科受診状況も昨年(43.3%)と比較すると受診率(44.9%)が高くなっている。

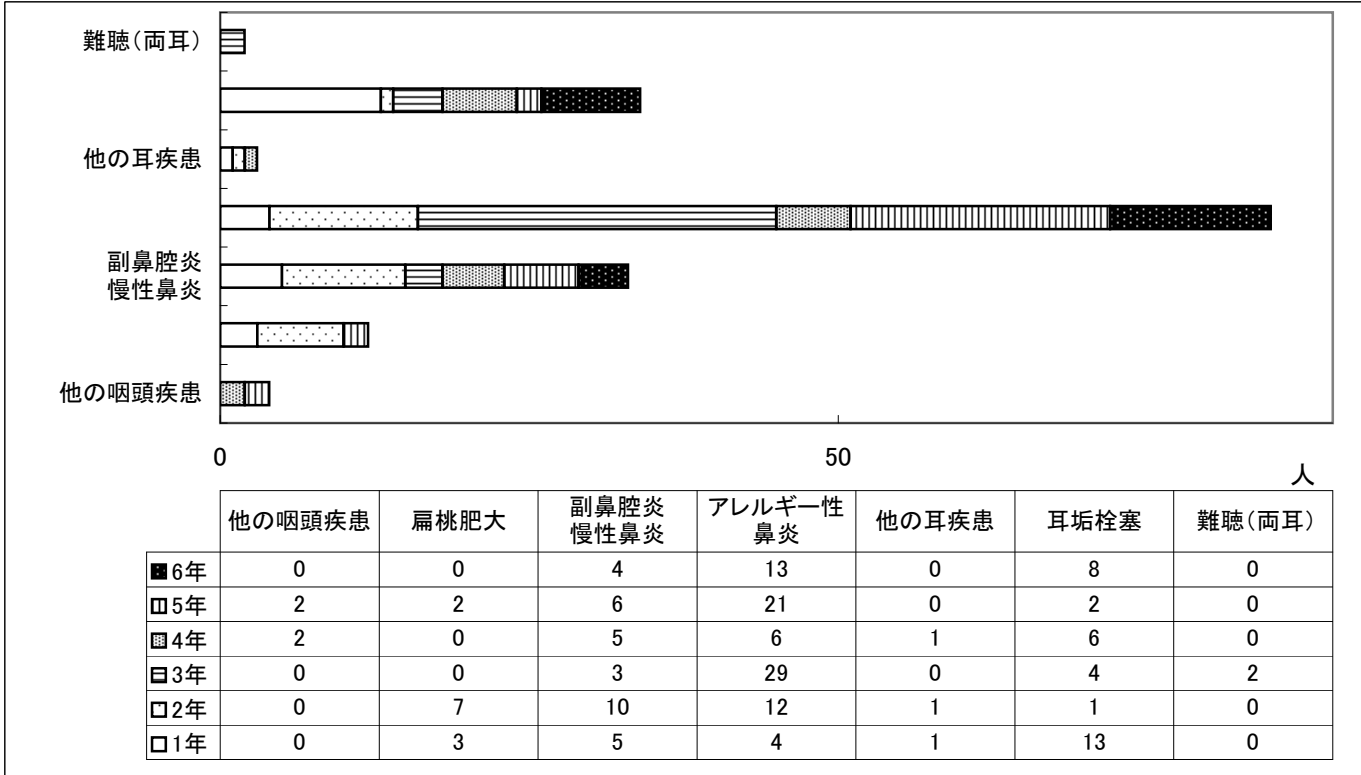
* 10月に視力検査を計画している。4月より視力が低下した児童、未受診の児童には、昨年同様、引き続き受診の勧めをしていく。



(5)耳鼻科検診結果

本校 (受検者)	899 (人)		広島市	広島県
	人数	割合	H22	H21
難聴(両耳)	2	0.22%	0.25%	0.40%
耳疾患及び異常	37	4.12%	4.76%	4.10%
鼻・副鼻腔疾患及び異常	33	3.67%	3.66%	12.10%
アレルギー性鼻炎	85	9.45%	11.10%	
咽頭疾患及び異常	16	1.78%	0.75%	1.63%

*アレルギー性鼻炎は広島市と比較すると本校の割合は低いが、本校の耳鼻科の疾病としては多い。
*耳鼻科の疾病は、耳垢栓塞が多い。耳掃除について、石原先生に助言をいただいたことをほげんだよりに掲載し、定期的に掃除するよう啓発している。



(6)聴力検査結果

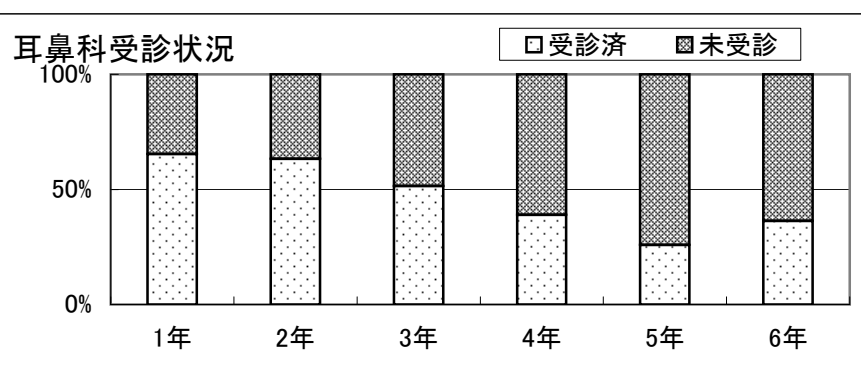
	1年	2年	3年	5年	計
受検者	140	155	158	144	597
有所見者	3	5	6	0	14
受診者	1	3	4	0	8

*聴力検査後の受診状況が低い。9月に確認をして、未受診であれば再度受診を勧めていく。

耳鼻科受診状況

	受診済	未受診	受診率 %
1年	17	9	65.4%
2年	19	11	63.3%
3年	18	17	51.4%
4年	7	11	38.9%
5年	8	23	25.8%
6年	8	14	36.4%
計	77	85	47.5%

7/27現在



*1~3年は半数以上の受診がある。
*昨年(49.6%)と比較すると受診率は47.5%と低くなっている。

(4) 歯科検診結果

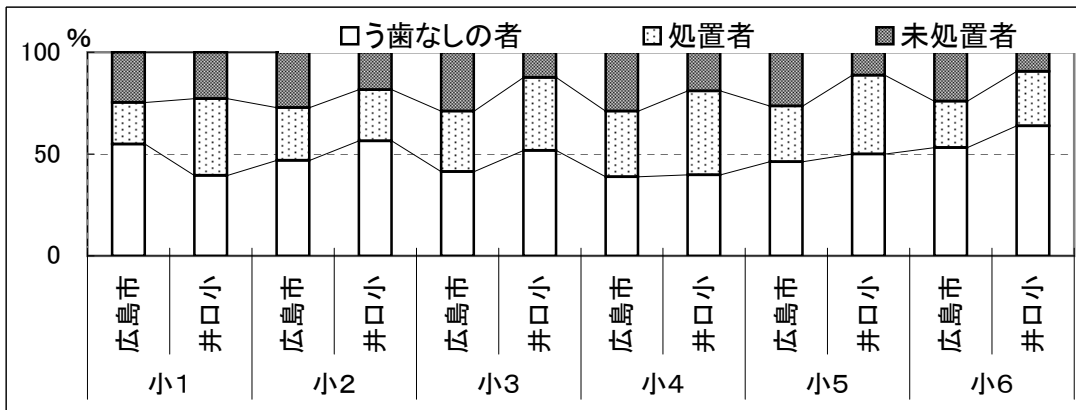
う歯の状況(広島県との比較)

(単位: %)

		(単位: %)		
		う歯なしの者	処置者	未処置者
小1	広島市	54.8	20.5	24.7
	井口小	39.4	37.8	22.8
小2	広島市	46.8	26.0	27.2
	井口小	56.4	25.2	18.4
小3	広島市	41.3	29.7	29.0
	井口小	51.7	35.9	12.4
小4	広島市	38.8	32.3	28.9
	井口小	39.8	41.1	19.1
小5	広島市	46.2	27.4	26.4
	井口小	50.0	38.7	11.3
小6	広島市	53.1	22.8	24.1
	井口小	63.9	26.6	9.5

永久歯の治療率

	H22			H23		
	処置歯	未処置歯	治療率	処置歯	未処置歯	治療率
小1	9	2	81.8	24	0	100.0
小2	21	6	77.8	6	2	75.0
小3	1	9	10.0	11	8	57.9
小4	26	12	68.4	44	2	95.7
小5	63	21	75.0	11	7	61.1
小6	31	12	72.1	41	7	85.4
計	151	62	70.9%	137	26	84.0%

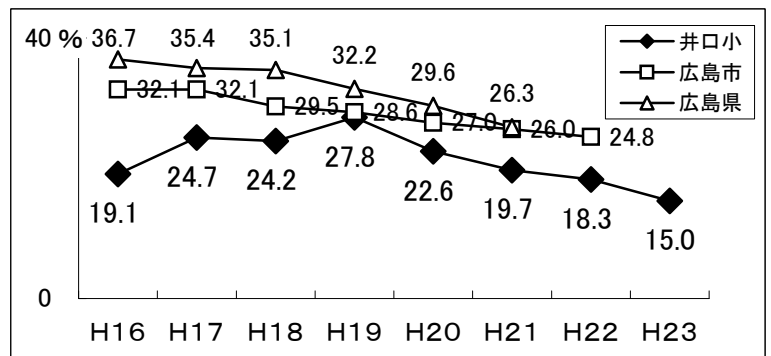


* 広島市と比較すると未処置者が低く、う歯(むし歯)なしも高い。 * 特に2年、6年がよい。
 * 永久歯の治療率がH23は治療率が上がっている。H22は70.9%→H23は84.0%(表I)

年度別う歯(乳歯・永久歯)の未処置者の推移

(単位: %)

☆年度別う歯の未処置者の推移(乳歯・永久歯)								
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
井口小	19.1	24.7	24.2	27.8	22.6	19.7	18.3	15.0
広島市	32.1	32.1	29.5	28.6	27.0	26.0	24.8	
広島県	36.7	35.4	35.1	32.2	29.6	26.3		

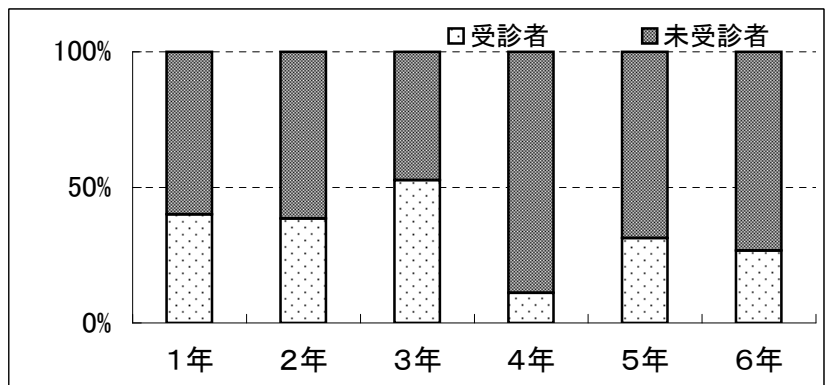


歯科受診状況

7/27現在

	受診者	未受診者	う歯のある者
1年	12	18	30
2年	10	16	26
3年	10	9	19
4年	3	24	27
5年	5	11	16
6年	4	11	15

* 歯科検診後、お知らせを出しているが、う歯の治療がなかなかすすまない。夏休み前、担任を通して治療の受診を勧めている。また治療の状況を「ほけんだより」で知らせ、治療を促している。



* 10月にも歯科検診を計画している。う歯のある児童については、治療を勧めていく。治療しても、秋の歯科検診時には、う歯になっているという児童もいるので、歯みがき週間を計画し、口腔の衛生や関心を持たせる。

